



Big Ass!
Momosiri Girl!

犯せ

デカしりむすめ!!

■基本CG5枚+差分CG30枚+文字・台詞なしCG35枚 合計CG70枚

「はあはあ、今日もくみちゃんの大きいお尻は最高だね！
特におマ○にパンツが食い込んでマン肉がハミ出てるマ○
デユフフ、おいしそうで涎が出ちゃうよ！」

『。。。。』

ギチ♡

ギチ♡





「デユフフ、くみちゃんのおマ○コ、

おじさんの指を二本入れただけでももうこんなにグチヨグチヨだね。

たった二本の指を膣の中で動かすだけでスゲーな音を立てながらこんなにマン汁を垂らして喘ぐなんて

・・・くみちゃんはド変態だなあ。」

あ♡

あ♡

あ♡

ゴキョ

ゴキョ

ワキョ

ワキョ

「デユフフ、なんかくみちゃん喘ぐ顔見てたら興奮して腕に力が入っちゃうよ。まだ彼氏にも見せたことないそのスケベな顔。。。デユフフ、おじさんだけに見せてくれるなんて最高だよお！」

「は、激しく動かさなさいませ。。。い、いっちゃうよ。。。」



「デュフフ、やっぱりおじさんのデカチ○ポとくみちゃんの大きい尻&どスケべおマ○コは相性がいいね！
まだ激しく動かしてないのに少し挿入しただけでもうこんなに膣で締め付けてきて、
溢れ出すくみちゃんのマン汁でおじさんのデカチ○ポがぬるぬるだよ！」

あゝ♡

あゝ♡

「おじさんのやつ大きいから、ゆ、ゆっくり動かして下さる。じやなら私のおマ○コ壊れちゃう。。。。」

ゴキツッ
ゴキツッ





「デユッフ、こっちの穴も相変わらず締め付けがいいね。

彼氏とのエッチでも決して弄られはしないくみちゃんの汚いこの穴を、

おじさんなんか指を二本も突っ込んで堪能できるなんて・・・おじさんは幸せだなあ。」

「そ、その穴はだめっ・・・ゆ、指を中で動かさないで・・・。」

んっ♡

んっ♡

んっ♡

ビクッ-

ビクッ-

ガクガク

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ



「はあはあ、くみちゃんのおマ○コ気持ちいよお!」
くみちゃんが喘ぐ度におじさんのデカチ○ポを膣がぐっつと締め付けてきて、
亀頭でくみちゃんの赤ちゃん部屋をソックする度にマン汁が溢れ出てくる!

おじさんは腰を振るのをやめられないよー!

「そ、そんなに激しく動かしちゃだめえっ! またイっちゃう! またイっちゃう! またイっちゃう!」

あんっ

ああんっ

あんっ

ビクッ

ガクガク

ガクガク

ガクガク

ガクガク

ガクガク

ガクガク

「うっっっ……でるっ……」

くみちゃんのおま○コの中、僕の濃いザーメンが30%ほどあけるっ……」

「ぎ、今日は中に田がないので……だめえええっ……赤ちゃんできちゃうっ……」

あんっ♡

ああんっ♡

あんっ♡

ビクッ

ビクッ

ガクガク

ドヒドヒ

びしょびしょびしょびしょ



「はあはあ・・・今日も結局この大きなお尻に負けてたくさん出しちゃったなあ。
デユフフ、くみちゃんのおマ○コの中じや収まりきらなくてサーメン出てきちゃってるね。」

はあっ

はあ

ビクッ

ビクッ

「はあはあ・・・き、今日は中に出せなそうと言ってたの・・・」

ガクガク

ガクガク



「デュフフ、相変わらず今日も大きなお尻にサイズの合わない小さなパンツ履いてるね！
少しクロッチ部分をずらしただけでおマ○コ見えちゃうそう♪
まさかスカートの下がこんなドスケベ状態になってるなんてね、
学校生活で万が一クラスの男子や男の教師に見られた日にはどうなっちゃうんだろ・・・
多分みんなくみちゃんの事を種付け用のデカ尻肉便器としか見てくれなくなるんじゃないかな？笑」



「あーっ！よく見たらくみちゃんのおマ○コ、おじさんのデカチ○ポが欲しくてきゅんきゅんしてるじゃん！
あとちよつと漏ってる・・・くみちゃんは下すけべだなあ、デュフフ。」



「おいひょおいひょおいひひひようん」

「でもちよつとおしつこの匂いがするなあ。。。。」

「デユフフ、くみちゃんはトイレしたあとにちゃんとおマ○ヨふきふきしなかったのかな？」

「あ、おじさんが今度おトイレした後のおマ○ヨの拭き方手取り足取り教えてあげようか? 笑」

「んっ!んっ!...い、んっ!」

ヒョ
ヒョ

ウチ
ウチ

ん



「デユフフ、くみちゃんの乳首、勃起してるね」
「おじさんの長い下でク○ニされ、ア○ルは指突っ込まれ弄られたせいかな？」

「・・・ち、ちがいます・・・んっ！んっ！」

「デユフフ、我慢しないでいいんだよ？お尻の汚い穴に指突っ込まれて感じちゃったんだよね？
しょうがないよね？お尻の汚い穴の方なんて普段弄らないもんね？」



「あっーくみちゃんのおしっこーいつはら出てるー」
ク〇ニされ続けて、ア〇ル弄られ続けていつちやっただせげかな？」

「あんっ！ああんっ！お、おしっこが止まらない！」

「我慢しないでいいんだよ！おじさんがペロペロしてあげる！
くみちゃんの大きな桃尻から出る聖水！おじさんの大好物だよっ！」

あんっ

ああんっ

アハハハ

ウチウチ

ウチウチ

「はあはあ、くみちゃんのその喘ぐ顔を見て声聞いてたらもう我慢できない！
おじさんのデカチ○ポはもうキンキンだよ！」

今日は本番なしだと思ってたけどハメハメしちゃううう！！

「あんっーあんっー！お、おじさんの嘘つき！へんたいっー！」

あんっ

あん

あんっ

ゴキョッ

ゴキョッ

ヒッ
チッ

ヒッ
チッ

「はあはあ、くみちゃんが悪いんだよ？
その顔も声もこのデカ尻もドすけへおマ○も、
どれもおじさんの種付け欲求を刺激するんだ！
この歩く種付け用デカ尻肉便器めっ！」



「おらっーおらっー！ー！孕めっ！孕めっ！ー！
ったくすけな顔と体しやがって・・・こんなのが街中歩いてたらどうしてんぞさう言ってるよなもんだろっー！
けしからんっ！ー！」

「あんっ！ああんっ！ー！や、やめて下さい！あっ！またイっちゃう！ー！」

あんっ♡

あんっ♡

あんっ♡

ゴキョッ

ゴキョッ

ヒッ
チッ

ヒッ
チッ

ああんっ♡

「はあっへみぢやんはそんな事言ってもお
くみぢやんはあまのこカチのボ欲らあまのこぢやん」

「ん、そんな事ならあーあーそんなに激しくならんぞぢやんっー！」

「ならそのピンピンに勃起した乳首と、おじさんのデカチのボで突くたびに溢れ出してくるこのマン汁はなんなんだろうっ？」

「おらっーおらっー！ー！」

「今日はくみちゃんの赤ちゃん部屋にもたっぶりザーメン注入して分かってやるっ！
今のくみちゃんに人権なんてないって事を分かってやるっ！

今は汚物のように排出される中年男の濃いザーメンを受け止める、
ただの種付け用ドスケベカ尻肉便器だっつてことを分かってやるっ！っつ！っつ！



「だめええええ！赤ちゃんできちやうっつ！

ああん♡

あん♡

あん

あん♡

ビクッ

ドクッ

ビクッ

ビクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ

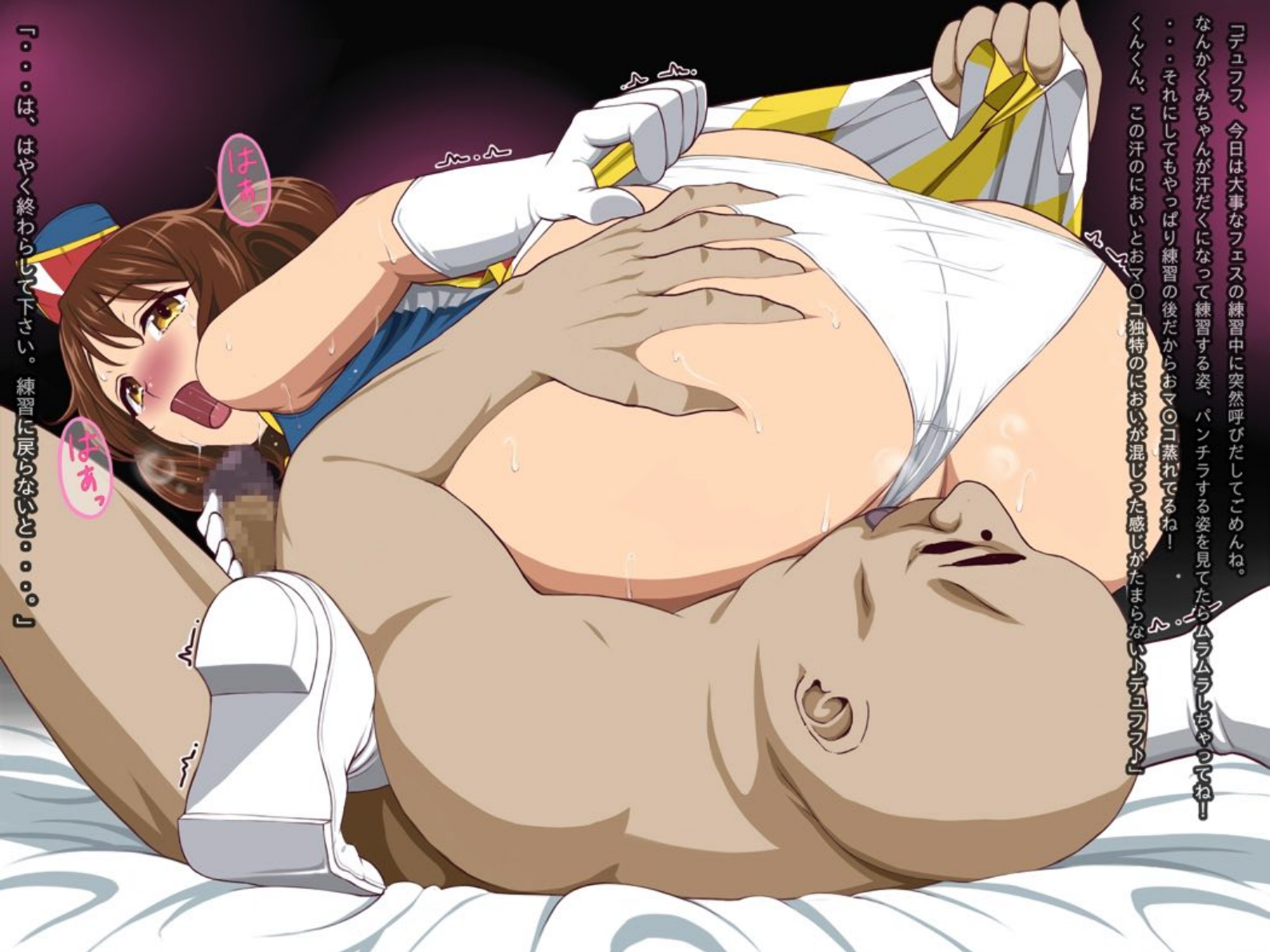
「はあはあ、すっきりした」

「二週間ぐらい溜まっていたからなあ、すごく濃くて大量のサーメンがくみちゃんのおマ○に落ちちゃったよー
デユッフ、もしかしたらおじさんとくみちゃんの赤ちゃんできちゃうかもね」

「はあはあ・・・や、やだあ・・・こ、呼吸するたびにおじさんのサーメンが出てくる・・・」

「やっぱりサーメンを出すにはこのデカ尻に限るなあ。
感度もいいし、いい声で鳴くし」





「デユルフ、今日は大事なフェスの練習中に突然呼びだしてごめんね。なんかくみちゃん汗だくになって練習する姿、パンチラする姿を見てたらムラムラしちゃってね！」

「・・・それにしてもやっぱり練習の後だからおマ○コ蒸れてるね！」

「くんくん、この汗のおいとおマ○コ独特のにおいが混じった感じがたまらないデユルフ！」

「・・・は、はやく終わらせて下さい。練習に戻らないで・・・」

はあ

はあ

んん

んん

んん



「練習の後に新陳代謝が良くなっているせいか、ちよつと舌を入れただけでおま○こからマン汁が溢れ出てくるね!」これはク○ニのしがないがあるよ!

くみちゃん どうっ
練習の後のク○ニは気持ちすくすく♪

「そ、そんなごい……あーあんっ!」

あっ♡

あっ♡

あっ♡

「くみちゃん、しゃぶり難しいといえ、もうちょっと頑張ってチ○ポしゃぶってくれないとおじさん満足できないよ？」
「は、はひ……んっ！」

「デユッフ、ふと考えただけど、くみちゃんの友達も家族も学校の先生も、まさか小汚い中年オヤジとこんな大変なプレイしてるとは思ってもないよね！」

でも実際はしてるよ彼氏でも無い、愛情のかけらも感じない中年オヤジとお嬢○を誑められながらチ○ポしゃぶるのよ





「けほっけほっーお、おじさんももうイったんでしょ？ーな、なんでまだおマ○口舐め続けるの？」

「デェェェェ、おじさん今日は調子いいんだ♪
一回射精しただけじゃ性欲は収まらないよ？」

「だからくみちゃんがいき狂うまでク○ニ続けてあげるッ」

「えっ？？あんっ！ああんっ！だめえっ！練習に戻れなくなっちゃううー！」

ああんっ♡

あんっ♡

ビキッ

ピキッ

ピキッ

ビキッ

ガクガク

ガクガク

ドロッ...

「デュフフ、今日はおじさんのデカチ○ポをしゃぶるだけで許してあげる。
それにしてもくみちゃんのお尻は相変わらず男の種付け意欲をそそるようなデカ桃尻だね」



「あ、そっだー！くみちゃんは吹奏楽部で楽器を吹くより、
下のお口にチ○ポ突っ込まれて喘ぐオス専用の楽器自体になった方がいいんじゃない？笑」

「くみちゃんのおマ○は本当に感度抜群だなあ♪指一步でかき回してるだけなのにマン汁がこんなに溢れてくる！
ア○ルの方も締め付けがすごいし、くみちゃんの下半身の二つの穴は本当に下すけへたあ♪」

「……あつーよく見たらパンツがまた少し黄ばんでるじゃないか！
ちゃんとおしつこした後はふきふきしないとだめだよ？
おじさんだからまだ良かったものの、これをもし彼氏が見たら幻滅しちゃうよ？」

「……あつ、デュフフ。それとも最近おじさんと会う度におマ○弄られまくってるからおしつこの穴もゆるゆるになっちゃった？笑」
「……ち、ちがつ……んっーんっー！」



「相変わらずおじさんのチ○ポ大きいでしょ？」

「は、はひ・・・」

「なんかね、くみちゃんと会う時は普段勃起する時よりギンギンになっちゃうんだ。・・・というかくみちゃんを見る度になんか笑



くみちゃんてさお尻が大きいからいつも腰をくねらせて歩いてるでしょ？

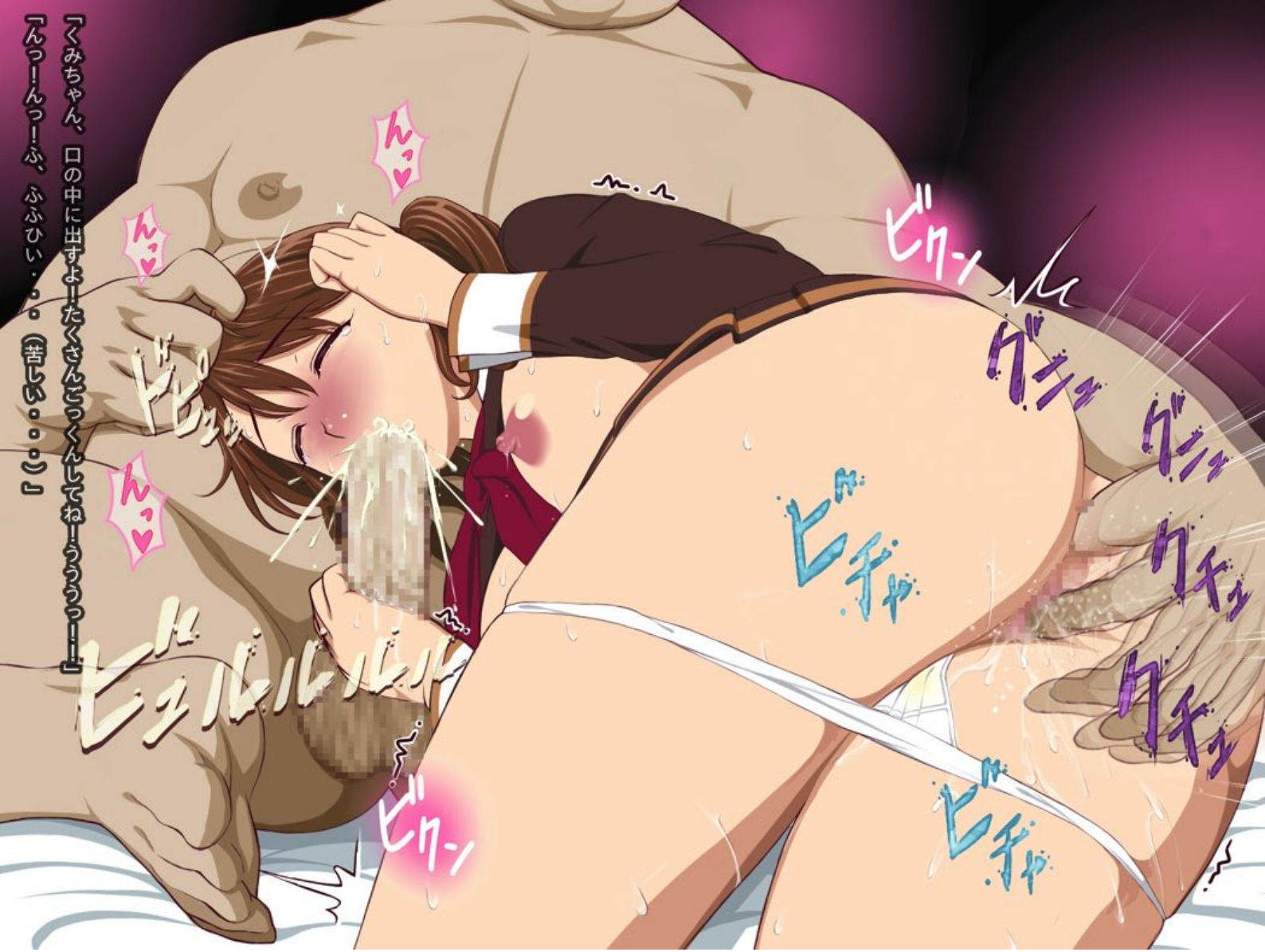
その後ろ姿を見る度に

「あつー種付けしなきゃー」っておじさんのチ○ポがギンギンになるんだよね。」

「ほらほらほらっ！もつと奥まで啜えんてしゃぶらないとー」
「は、はひ……へ、へほ、ほんはひはへひふはへはは……」
（は、はい……で、でも、そんなに激しくされたら……）」



「くみちゃんは何言ってるのかな？
たかがおマ○コとア○ルを執拗に弄られただけでチ○ポしゃぶりが疎かになるなんて
これから性処理兼種付け用デカ尻肉便器としてやっていけないよ？」



「くみちゃん、口の中に出すよーたくさんごっくんしてねーううううー!」
「んっ!んっ!んっ!ふ、ふふひひ...」(苦しむ...)

「デユッフ、やっぱりくみちゃんの桃尻を弄りながら、くみちゃんのお口の中に射精するのは気持ちいいなあ♪
いつもより濃いのがたくさん出るよ」



「けほっけほっ・・・く、口の中と喉の辺りが精液でいっぱい・・・」
「ちゃんとごっくんしてくれただね♪今頃くみちゃんの胃の中はおじさんの出したザーメンでいっぱいかな笑？」
「・・・はああ、考えただけで興奮してきた!!!」

「はあはあっ！ーくみちゃんっ！ーくみちゃんっ！ー」

「ぎん今日はフェスの日なのに。。」

はあ

はあ

「そんなの関係ないよ！もう我慢できないんだよおっ！ー」

その「オスチューム」でパンチラしてる姿見てたらもう犯す事しか考えれないんだよおっ！ー」

「お、おじさんいくらなんでも自分勝手すぎます！ー」

「うるさいっ！ーこの性処理兼種付け用デカ尻肉便器が！ー」

あの恥ずかしい写真をばら撒かれたくなければ今すぐこのデカチ○ポをおマ○コに挿れさせるっ！ー」



「デユラフ、嫌がっている割にはすごい勢いでマン汁が出てるじゃないか！

くみちゃんのおマ○コがおじさんのデカチ○ポを欲してた証拠だな！

あんっ♡

あんっ♡

それにどうせあれだろ？

ゴッ
ゴッ
ゴッ

ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ

澄ました顔でフェスでマーチングしてる時もパンツを蒸れ蒸れおマ○コに食い込ませて、

カメコのおっさんに写真撮られるたびマン汁垂らしてるんだろ？このドすけべ肉便器め！

「ち、ちがうもん！おじさん頭おかしいよ！おじさんの変態！ド変態！！」

「肉便器のくせに生意気な事を言う回はこうだ！」

「いやーいやーやらあーあんっーあんっー！」

あんっ♡

あんっ♡

レロレロ

ピチピチ

ゴクゴク

ゴクゴク

ピチピチ

ピチピチ

「たっぷりとおじさんの唾液でくみちゃんの舌をびちょびちょにしてやる！
そしてくみちゃんは好きな人とエッチな気分になってディーブキスしようとするたびに思いたすんだ！
小汚い中年おじさんのデカチ○ポをおマ○コに突っ込まれながら無理やりされたくさーいくさーいべロチュウの事をっー！」

「肉便器のくせに生意気な口を聞いたから、今日はおみちゃんがいきつづけてやめてって懇願しても

おマ○コが壊れるまで、赤ちゃん部屋に濃——いザーメンをたっぷり注ぎ込むまで、何回も何回もデカチ○ポで突いてやる——
覚悟しろよお——！」

あんっ♡

ロロ

ピチッ
ピチッ

あんっ♡

ゴッ
ゴッ

ゴッ
ゴッ

ピチッ
ピチッ

ピチッ
ピチッ

「やら——やらあつ——おかひくなつてひやう——おかひくなつてひやう——あんっ——あんっ——」



「まったくデカ尻以外も肉付きのいい体しやがって！

おらッ！おらッ！ー！孕めッ！孕めッ！ー！

あんっ♡

ああんっ♡

あんっ♡

ピョッ
ピョッ

ビクッ

ビクッ

ゴッ
ゴッ
ゴッ

ピョッ
ピョッ

ピョッ
ピョッ

こんな体のくせに口タスケベな事は何も知らな！ってな感じの澄ました顔で過ごしてるなんて本当にくみちゃんはド変態だなッ！

今度は裸でマーチングしてみなよ！

その場にいる男どもはみんなくみちゃんとの種付けタスケベセツクスしたくてうずうずし出すぞー！

「お、おひはんのほへんはいーほへんはいー」（お、おじさんのド変態ー！ド変態ー！）



「ううっ……出る……くみちゃんの赤ちゃん部屋に目掛けてすっごい濃いザーメン出るうう……」
妊娠確実！おじさんの濃いさの濃いやさザーメンで妊娠確実うううう……！！
「あんっ！ああんっ……らめええええっ……」

ああんっ♡

あんっ♡

あんっ♡

ビクッ

ロロ

ピチッ

ゴクッ

ゴクッ

ビクッ

ゴクッ

「はあああ、デユルフ、た〜くん出たねくみちゃん♪」

はあッ

はあッ

はあッ

はあッ

はあッ

「あれ？くみちゃん？もじかしておじさんのデカチ○ポで何回も赤ちゃん部屋ノックしたからおかしくなっちゃったかな？
デユルフ、でもこれで分かったでしょ？真正正銘、くみちゃんはおじさんの肉便器だよ。
その顔と声、肉付きのいいおっぱい、大きい桃尻、そしておじさんのデカチ○ポを慰めるだけに股間に付いているおマ○コ！
くみちゃんはいつ何時も、おじさんがセツ○スしたいって言ったら迷わずその体を差し出さないとダメだよ？デユルフ♪」

